

# 生産出荷近代化計画の概要

- [野菜指定産地名] 栗原
- [指定野菜の種別] 夏秋きゅうり
- [指定区域] 栗原市
- [指定年月日] 昭和45年10月13日
- [計画樹立年月日] 昭和46年8月28日
- [計画変更年月日] 令和3年3月31日

## [変更後の計画概要]

### ○生産及び出荷の近代化に関する基本構想

当地域では高齢化が進んでおり、生産者及び作付面積は減少傾向にある。近年、生産環境は夏の温度上昇により病害虫の多発並びに樹勢の維持管理が難しくなっている。また、野菜の国内消費量が微減傾向の中、きゅうりについても同様の傾向となっている。これに加え、価格低迷が長期化し、生産農家の生産意欲を低下させている。

このような状況のもと、雇用型経営体への作付推進を図るとともに、推進にあたっては普及センター等関係機関の協力を得ながら経営管理技術に関する指導も実施していく。さらに、部会では新規栽培者等の若い担い手に対する支援体制を整えており、今後ともその育成に力を入れていく。

生産性の向上については、土壌分析を活用し、適正な土づくりを行っていく。また高温時における遮光資材の活用により樹勢維持に努めるとともに病害虫防除の徹底による単収向上に向けた取り組みを強化していく。また、多収性、省力性、病害抵抗性を考慮した新たな品種の導入を検討していく。

出荷調製については、作業の省力化、流通コストの低減を図るため出荷規格の簡素化及び出荷資材、輸送形態及び出荷先の見直しについて検討を行っていく。

### ○生産出荷近代化の現状と目標

項目	現状 (H29)	目標 (R4)
作付面積 (ha)	48	50
生産量 (t)	803	900
出荷量 (t)	463	500
共販等量 (t)	370	465
共販等率 (%)	80	93
収量 (kg/10a)	1,680	1,800